

|         |       |          |           |
|---------|-------|----------|-----------|
| がん看護    | 3年・後期 | 1単位 15時間 | 教授 本吉 美也子 |
| 科目カテゴリー | 看護の統合 | 科目ナンバリング | 33310723  |

### 1. 授業のねらい・概要

学生が、がん患者およびがんサバイバーに対する医療の現状と治療、さらにこれらの人々に対する看護援助の方法を理解することにより、根拠に基づいたがん看護を実践できる能力を養うことを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. がん医療の現状について説明できる。(D-3)
2. がんの病態と経過について説明できる。(D-2)
3. がん患者およびがんサバイバーの苦痛や心理的サポートについて説明できる。(D-2)
4. がんの集学的(薬物・放射線・手術)治療とそれぞれ看護の基本について説明できる。(D-2)
5. がん治療の合併症や副作用対策について説明できる。(D-2)
6. がん緩和ケアの特性について説明できる。(D-2)
7. 外来がん看護の特性について説明できる。(D-2)
8. がん患者の療養支援について説明できる。(D-3)

### 3. 授業の進め方

講義と視聴覚教材を中心に授業展開する。がん患者を看護する看護師として知っておかなければならない知識とケアについて教科書で事前に確認し、それらがイメージできるよう視聴覚教材を用いる。さらに事例を通して実際の看護ケアについて学んでいく。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして授業後のリアクションペーパーによるリフレクションを行う。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施: Google Classroom, Gmail 等による学習課題の提示・解説。

### 4. 授業計画(講義)

| 回 | 授業内容                   | 授業形態 | 事前事後学修(学修課題)  | 担当    |
|---|------------------------|------|---|-------|
| 1 | がんの取り巻く状況とがんサバイバーへの支援① | 講義   | 予習: がんサバイバーについてテキストに記述している内容を読んてくる。<br>復習: がんサバイバーの思いを振り返る。     | 本吉美也子 |
| 2 | がんの取り巻く状況とがんサバイバーへの支援② | 講義   | 予習: 事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめてくる。<br>復習: がんサバイバーを支える人々の思いを振り返る。 | 本吉    |
| 3 | がんの取り巻く状況とがんサバイバーへの支援③ | 講義   | 予習: 事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめてくる。<br>復習: がんサバイバーへの支援のポイントをまとめる。 | 本吉    |
| 4 | がんの治療と看護: 薬物療法         | 講義   | 予習: 事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめてくる。                               | 本吉    |

|   |                |    |  |    |
|---|----------------|----|--|----|
|   |                |    | 復習：薬物療法における看護師の役割についてまとめる。                                       |    |
| 5 | がんの治療と看護：放射線療法 | 講義 | 予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめてくる。<br>復習：放射線療法における看護師の役割についてまとめる。  | 本吉 |
| 6 | がんの治療と看護：手術療法  | 講義 | 予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめてくる。<br>復習：がん手術療法における看護師の役割についてまとめる。 | 本吉 |
| 7 | がん緩和ケア         | 講義 | 予習：事前配布する課題についてテキストを参考にしてまとめてくる。<br>復習：緩和ケアに必要な支援について振り返る。       | 本吉 |
| 8 | 外来がん看護・定期試験    | 講義 | 予習：授業全体を振り返り試験に備える。<br>復習：試験で間違った問題をノートにまとめる。                    | 本吉 |

## 5. 成績評価の方法・基準

評価は、定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%，課題レポート20%，を基準として総合的に評価する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

課題レポートの内容と提出期限については授業中に口頭で指示する。

レポート提出が指定の期日に遅れた場合は1週間未満で50%減点、1週間以上では100%減点となる。

定期試験の出題範囲と出題方法は事前に口頭で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：小松浩子（2024）系統看護学講座 成人看護学 別冊 がん看護学（第3版） 医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について、最低90分の予習および復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

テキストを中心に学習を進めるので必ず該当のテキストを持参し、事前に該当の分野を読み、疑問点を明確にして授業に臨むこと。

また事前配布する授業資料に目を通し、ブランクを埋めてくること。

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動は慎むこと  
慢性期成人看護学実習の先修科目である。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

課題レポートの講評は授業内に行う。定期試験の結果と解答については後日 Google Classroom または Gmail 等を用いて解説する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

**11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される**

緩和ケア病棟のある医療機関における看護師の実務経験を活かして講義を行う。